

# 埼玉県立自然の博物館報

第17号

令和4年度（2022）



埼玉県立自然の博物館

# 目 次

埼玉県立自然の博物館の使命について	2
I 沿革	3
II 組織及び職員構成	5
III 施設の概要	6
IV 展示の概要	7
V 令和4年度事業計画	
1 管理運営事業	8
2 展示事業	8
3 教育普及事業	9
4 資料収集整理事業	11
5 調査研究事業	11
VI 令和3年度事業報告	
1 管理運営事業	13
2 展示事業	14
3 教育普及事業	17
4 資料収集整理事業	26
5 調査研究事業	29

表紙：「鑛物植物標本陳列所」の内部のようす

(画像提供：秩父鉄道株式会社)

鑛物植物標本陳列所は、当館の前身となる施設で、大正10年秩父鑛物標本陳列所として秩父鉄道株式会社が、故東京帝国大学鑛物学教授、神保小虎博士の指導協力を得て開設したものである。

当時、長瀬には全国から地質学を学びに多くの研究者や学生が訪れており、大正13年にいち早く国の名勝・天然記念物に指定された。

# 埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

川の博物館と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

## 1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

## 2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

## 3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

## 4 様々な人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

# I 沿革

## 昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
- 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
- 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
- 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定 (長瀨町)
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
- 54.4.1 準備委員 4 名発令 (2 名増員)、建設敷地等について秩父鉄道 (株) と協定締結
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
- 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7 社)
- 55.10.1 準備事務所職員 10 名発令 (5 名増員)
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.4.1 準備事務所職員 19 名発令
- 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
- 56.10.30 展示工事完成
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行  
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9~21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19~11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 7.2.28 身障者用エレベーター設置
- 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
- 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
- 8.3.27 第 1~第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
- 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
- 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
- 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 10.9.30 公共下水道接続工事
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定 (埼玉指第 462・463 号)
- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
- 11.7.17~8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
- 14.3.18 生物展示ホール照明改修
- 14.3.26 身障者用駐車場改修
- 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5~12.8 特別展「奥秩父の自然」開催

## 平成

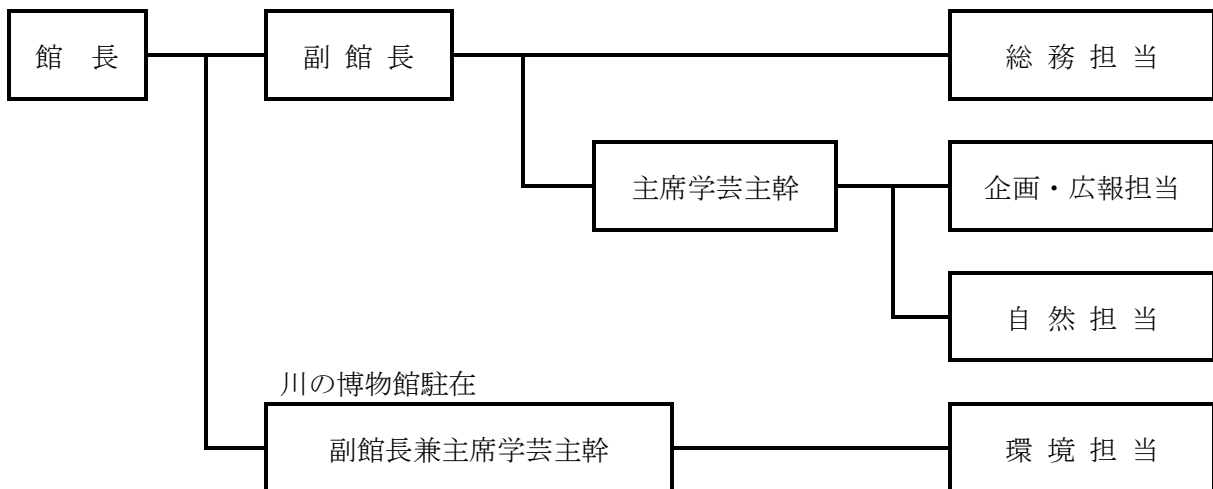
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団から展示総合案内寄贈

- 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村 豊写真展」開催
- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.12.27 駐車場改修工事完了（第二工区）
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 503 号）
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博物館」設置
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令（川の博物館長と兼務）
- 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令（川の博物館長と兼務）
- 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令（兼免）
- 20.4.1 環境担当（川の博物館常駐）を設置
- 20.7.20～8.31 特別展「巨大昆虫の世界Ⅱ」開催\*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催\*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用を探る—」開催\*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館  
（講師派遣等館外で行う事業は実施）
- 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごっつおう」開催\*
- 24.4.1 館長 洪澤重雄発令
- 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催\*
- 24.10.6 リフレッシュオープン
- 25.4.1 館長 井上尚明発令
- 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・ひと・モノ—」開催\*
- 26.4.1 館長 井田秀夫発令
- 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者たち～」開催
- 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地下資源の利用と人々の暮らし～」開催\*
- 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン ～ダンゴムシからゾウまで～」開催
- 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ ～魚の生態と伝統漁法～」開催\*
- 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及びチチブクジラ計 3 件県指定解除埼玉指第 462、463、503 号）
- 28.4.1 館長 中村修美発令
- 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催\*
- 28.8.12 入館者累計 300 万人達成
- 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物展 ～暮らしと植物のステキな関係～」開催
- 29.4.1 館長 木村博昭発令
- 29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」開催\*
- 29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山 ～140種の鉱物のきらめき～」開催
- 30.6.30～9.2 特別展「ハチを知る」開催
- 30.11.3～31.1.6 特別展「カモ・鴨 ～見・知・獲・食～」開催\*
- 31.4.1 館長 飯田徹発令
- 令和**
- 1.7.6～2.1.13 特別展「知って！埼玉 化石でたどる 2000 万年」開催
- 1.7.13～1.9.1 特別展「根・子・ネズミ ～ネズミワールドへようこそ～」開催\*
- 2.7.11～2.9.6 特別展「楽しい美味しい江戸の水辺」開催\*
- 2.9.26～3.2.28 特別展「埼玉記念物 100 年 —埼玉の天然記念物ってどう思いますか？—」開催
- 3.4.1 館長 橋本強発令
- 3.7.10～3.8.31 特別展「すみか ～身近なすみかを見てみよう～」開催\*
- 3.7.30 「チチブサワラ骨格化石」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 571 号）
- 3.10.30～4.2.27 特別展「自然の博物館 100 年の軌跡」開催
- 4.4.1 館長 田沼康雄発令

\*印 企画＝自然の博物館、実施＝川の博物館

## II 組織及び職員構成（令和4年度）

### 1 組織



### 2 職員構成（令和4年4月1日現在）

館長 田沼康雄  
 副館長兼主席学芸主幹 西口由子  
 副館長 飯村光良  
 ○総務担当  
 担当課長 菊池拓真  
 主任 松岡敬弘  
 主事 八子拓弥  
 ○企画・広報、自然担当  
 主席学芸主幹 岩田明広  
 ○企画・広報担当  
 担当課長 飯島俊  
 担当課長 横田淳  
 主任 秋元清二

○自然担当  
 学芸主幹 井上素子  
 主任学芸員 小林まさ代  
 学芸員 木山加奈子  
 学芸員 半田宏伸  
 学芸員 山岡勇太  
 学芸員 本多里奈  
 学芸員 高橋美織  
 主事 等々力政彦  
 ○環境担当  
 主任学芸員 奥村みほ子  
 学芸員 須田大樹

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

### 3 人事異動

#### 令和4年3月31日

館長 橋本強(退職)  
 総務担当担当課長 丸岡康弘(転出)  
 主席学芸主幹 君島勝秀(転出)  
 自然担当担当課長 曾根崎猛史(転出)  
 自然担当学芸員 三上忠仁(任期満了)

#### 令和4年4月1日

館長 田沼康雄(転入)  
 総務担当担当課長 菊池拓真(転入)  
 主席学芸主幹 岩田明広(転入)  
 自然担当学芸員 本多里奈(新採用)  
 自然担当学芸員 高橋美織(臨時的任用)

### Ⅲ 施設の概要

1 所在地

埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1

2 敷地面積

9,948.76㎡

3 建物の構造及び床面積

鉄筋コンクリート、2階建、建築面積 2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡

4 各部門及び各室の面積

(1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)

エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、  
生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)  
ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)

(2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)

講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)

(3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)

学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)

(4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)

化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、  
工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)

(5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)

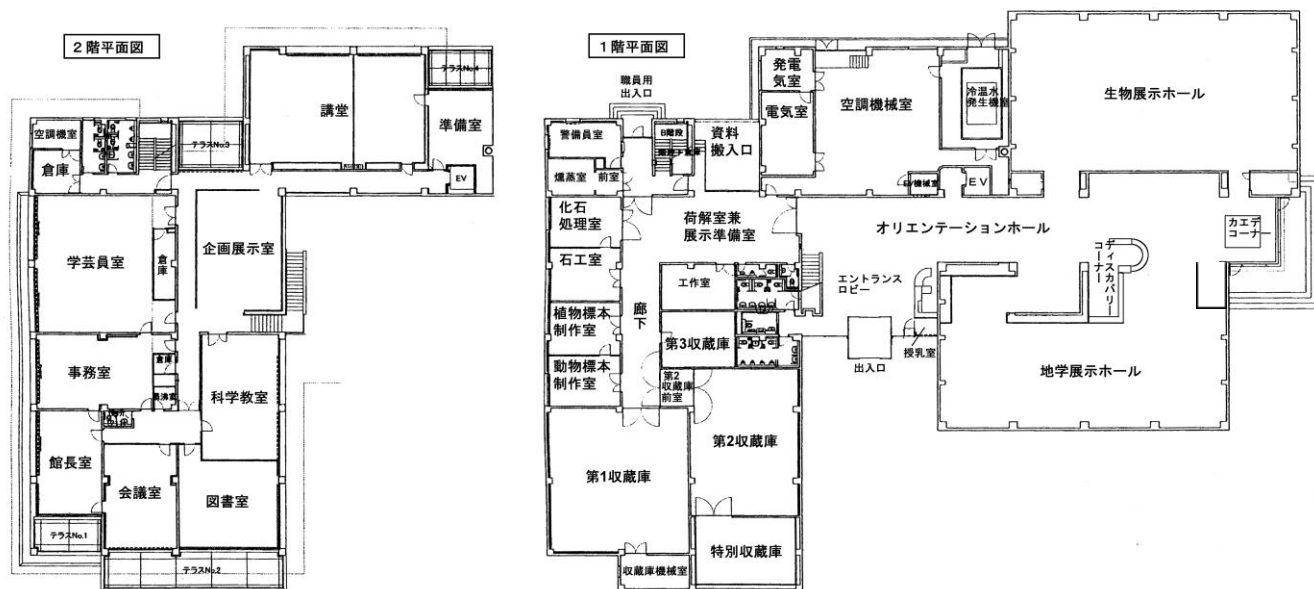
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、  
特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)

(6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)

館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、  
機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)

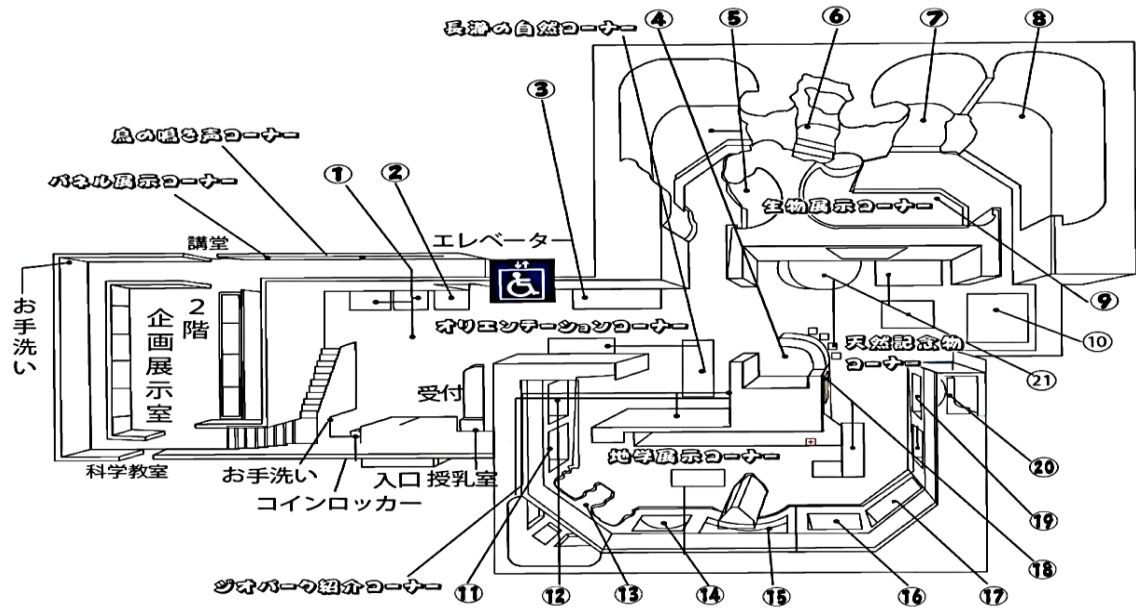
(7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)

エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



# IV 展示の概要

## 1 展示ホールの概要



## 2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

### ◇ オリエンテーションホール

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ  
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県のシンボル②
- ・ 埼玉の多様な生きものコーナー③  
(さわられるはく製コーナー (現在接触禁止) 含む)
- ・ ディスカバリーコーナー④ (現在利用中止)  
※「森のシアター」開設
- ・ 植物コーナー⑩

### ◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー  
長瀨の地質  
秩父・長瀨の地質学史と博物館のあゆみ  
長瀨の自然コーナー (岩畳紹介コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層  
2億5000万年前の海の様子⑪  
秩父帯の地層⑫  
秩父鉾山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭  
山中地溝帯  
1億年前の海と陸のようす  
恐竜ガリミスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯
- ・ 砂泥互層

- ・ 第四紀の化石
- ・ 新時代の幕あけ  
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—⑰
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
- ・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑱
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

### ◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

### ◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ 石灰岩地と鍾乳洞の生き物⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりのこい夏のアカマツ林⑨

### ◇ 企画展示室(2階)

- 各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示。

### ◇ パネル展示コーナー(2階)

- 季節の移り変わりを写真中心とした展示。

### ◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

- 身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声を音声ガイドにより聞くことができる。(現在利用中止)



## V 令和4年度事業計画（令和4年4月1日現在）

### 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努める。

### 2 展示事業

展示の充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施する。

#### (1) 常設展示の充実と維持管理

##### ① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの展示物を定期的に交換し、タイムリーな季節の情報を発信するとともに、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物の更新を随時実施し、資料の劣化防止及び活用を図る。

##### ② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナー、植物コーナーでの展示物の更新を随時実施する。

#### (2) 特別展の実施

##### ① タイトル：「The 蛇紋岩」

期間：令和4年10月29日（土）～令和5年2月26日（日）

会場：企画展示室

概要：蛇紋岩は、美しい濃緑色と独特の手触りの岩肌を有し、埼玉県産のものは国会議事堂の石材としても利用されている美しい石である。蛇紋岩の地質学的特徴や、蛇紋岩とともに産出する鉱物、石材としての利用を紹介する。

##### ② タイトル：「海なし雪なし火山なし ーないけどある！埼玉との深い関係ー」

（企画：自然の博物館、運営：川の博物館）

期間：令和4年7月9日（土）～8月31日（水）

会場：川の博物館

概要：海、雪国、火山など、埼玉に「ない」ものに着目し、日ごろ接する機会の少ない海洋や地域の自然について学ぶ機会を提供するとともに、他地域との比較によって改めて埼玉の自然の特徴を明らかにし、埼玉の風土や文化について考える。

#### ※関連の展示（スロープ展）

タイトル：「火山灰の積もった埼玉のやせた台地が広い農地に変わり江戸の暮らしを支えた!？」

期間：令和4年6月24日（金）～9月4日（日）

会場：川の博物館 第1展示室（スロープ）

概要：特別展「海なし雪なし火山なし ーないけどある！埼玉との深い関係ー」連携企画。関東ロームに覆われた台地が開拓され、農林産物が舟運などによって運ばれ江戸の衣・食・住を支えたことや、反対に江戸からは海産物などが運ばれてきたことを紹介する。

#### (3) 企画展示の実施（うち1回は前年度から継続）

##### ① タイトル：「生きものの名前」

期間：令和4年4月1日（金）～令和4年6月19日（日）※前年度から継続

会場：企画展示室

概要：和名、学名、埼玉県の名前に縁のある名前など自然界に見られる生きものには色々な名前が付けられている。本展示では当館が扱う資料を中心に名前の付き方やルールなどを紹介する。

② タイトル：「奥秩父の自然」

期間：令和4年7月2日（土）～10月16日（日）

会場：企画展示室

概要：1都3県に跨る標高2,000m級の奥秩父山地。本展示では、奥秩父の岩石や生息する動植物を紹介する。

③ タイトル：「自然の色と模様」

期間：令和5年3月11日（土）～3月31日（金）※次年度へ継続

会場：企画展示室

概要：自然界に見られる様々な「色」や「模様」に焦点を当て、その多様性や役割について紹介する。

(4) パネル展示の実施（うち1回は前年度から継続）

① タイトル：「カメラで撮る標本の世界」

期間：令和4年3月11日（土）～令和4年3月31日（金）※前年度から継続

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：肉眼では伝わらない標本の形や色などを、デジタルカメラで撮影した画像で紹介する。

② タイトル：「標本制作の技（植物編）」

期間：令和4年6月21日（火）～10月16日（日）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：植物標本を作る上でのポイントやコツを紹介する。

③ タイトル：「水辺の鳥」

期間：令和4年10月18日（火）～令和5年2月26日（日）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：県内で見られる水鳥を紹介する。

④ タイトル：「発色のしくみ」※次年度へ継続

期間：令和5年2月28日（火）～3月31日（金）

会場：2階廊下パネル展示コーナー

概要：企画展「自然の色と模様」連携企画。肉眼では伝わらない小さな標本の形や色などを、デジタルカメラで撮影した画像で紹介する。

(5) 共催展示の実施

① タイトル：「埼玉県の生き物（仮）」

期間：未定（2回を予定）

会場：寄居町立小学校2校（寄居町教育委員会との共催）

概要：身近に暮らす動物たちを紹介し、環境について考える機会を提供する。

### 3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供する。

(1) 自然史講座

7回（7日）

- (2) 観察会 7回 ( 7日)
- (3) ミュージアムトーク 39回 (39日)
- (4) 各団体との共催・協力イベント 5回
- (5) その他の事業 1回 ( 1日)
- (6) 学校教育や社会教育への学習支援  
要請に応じて地質分野、生物分野の出張授業や講演・講義、展示解説、自然体験プログラムを実施する。
- (7) 研修会の受入れ 2回 ( 2日)  
県立総合教育センター主催の教員研修会を積極的に受け入れる。
- ① 中学校5年経験者研修 (教科別研修・理科) 1回 ( 1日)
- ② 中学校初任者研修 (教科別研修・理科) 1回 ( 1日)
- (8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ
- ① 博物館学芸員実習 (7日間)
- ② 中学生職場体験実習 (3日間)
- ③ 大学生県庁インターンシップ (5日間)
- ④ 障害者県庁職場実習 (職場体験コース) (3日間)
- (9) 自然の博物館友の会の活動への支援  
野外観察会 (5回)、交流会 (1回) の支援
- (10) 各種印刷物の発行
- ① 館報 第17号
- ② 研究報告 第17号
- ③ ミュージアムカレンダー (イベント年間予定表)
- ④ ニュースレター「澗」 第39号、第40号
- ⑤ 特別展「The 蛇紋岩」  
展示解説書、ポスター及びリーフレット
- ⑥ 川の博物館特別展「海なし雪なし火山なしーないけどある！埼玉との深い関係ー」展示解説書  
(執筆・編集) 及びリーフレット (企画・構成)
- ⑦ 企画展「奥秩父の自然」のポスター及びリーフレット
- ⑧ 企画展「自然の色と模様」のポスター及びリーフレット
- ⑨ 展示解説リーフレット
- ⑩ 自然史講座や観察会のテキストや研究発表会の資料
- ⑪ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット
- (11) HP、Twitter の活用
- ① 身近な自然分野や季節の話題、関連施設のイベント情報等について情報発信
- ② 特別展や企画展、イベント等について紹介
- (12) ボランティアの受入れと研修  
生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高める。
- ① 展示解説ボランティア  
観覧者の要望により随時展示解説を行う。 ※年4回の研修会を行う。

- ② 普及事業ボランティア  
観察会・講座等の事業の補助を行う。
- ③ 資料整理ボランティア  
学芸職員とともに、標本化作業を行う。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア  
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行う。

#### 4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施する。  
登録資料すべてのチェックを行う。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管している自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の公開
- (11) 館内燻蒸のための臨時休館（令和4年9月6日（火）～11日（日）の予定）
- (12) 常設展示メンテナンスのための臨時休館（令和5年1月17日（火）～22日（日）の予定）
- (13) 資料整理のための集中作業期間（令和5年1月23日（月）～29日（日）の予定）
- (14) 登録資料データベースの共通化
- (15) 登録資料の全点チェック（複数年）

#### 5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」  
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行う。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努める。  
分野別研究テーマ
  - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
  - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業通常調査  
カモシカ保護管理の基礎資料として活用される、カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する現地調査を行う。通常調査6か年のうち5年目。
- (3) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」  
5カ年計画の4年目で、初年度の予備調査に続く実質的調査の3年目にあたる。都市化が進む4市（飯能・狭山・入間・川越）を流れる入間川の山間から平地に至るまでの流域で、動植物の生息状況や環境、地形や露頭の調査を行い、県内の自然に関する基礎情報を集積する。

(4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究

(5) 外部研究者の受入れと活用

施設や収蔵資料を外部研究者の利用に供することにより研究活動を支援するとともに、共同研究を行うなど埼玉の自然に関わる情報を集積する。

## VI 令和3年度事業報告

### 1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めた。

#### (1) 歳出決算

(単位：千円)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
管理運営費	16,590	18,548	13,905	19,069
資料収集整理事業費	593	544	587	661
展示・教育普及事業費	8,517	16,451	13,701	12,574
国指定天然記念物の魅力発信 とジオパーク秩父の活用事業	3,176			
合計	28,876	35,543	28,193	32,304

#### (2) 令和3年度観覧者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	2,946	66	3,012	2,264	1	55	2,319	5,331	26
5	4,261	187	4,448	2,860	2	40	2,900	7,348	27
6	2,605	109	2,714	1,536	11	500	2,036	4,750	26
7	4,631	162	4,793	3,309	9	249	3,558	8,351	31
8	9,233	437	9,670	7,202	4	71	7,273	16,943	31
9	3,199	180	3,379	2,003	0	0	2,003	5,382	21
10	3,298	134	3,432	1,838	17	714	2,552	5,984	27
11	5,851	182	6,033	2,985	24	1,107	4,092	10,125	25
12	1,612	90	1,702	871	8	486	1,357	3,059	24
1	1,006	42	1,048	723	1	25	748	1,796	15
2	1,756	89	1,845	1,049	3	113	1,162	3,007	24
3	2,524	201	2,725	1,778	2	18	1,796	4,521	28
合計	42,922	1,879	44,801	28,418	82	3,378	31,796	76,597	305

#### (3) 施設の利用状況

##### ① 講堂 12件

番号	申請者	利用日
1	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.4.22
2	皆野町立皆野小学校	R3.4.28
3	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.5.9

4	秩父市（ジオパーク観光部会）	R3.6.17
5	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.9.17
6	上尾市立上尾中学校	R3.10.6
7	さいたま市立桜木中学校	R3.11.2
8	熊谷市立吉岡中学校	R3.10.29
9	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.12.10
10	埼玉県立自然の博物館友の会	R4.2.13
11	大滝げんきプラザ	R4.2.17
12	埼玉県立自然の博物館友の会	R4.3.11

② 会議室 5件

番号	申請者	利用日
1	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.4.22
2	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.5.9
3	皆野町立国神小学校	R3.5.12
4	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.9.17
5	埼玉県立自然の博物館友の会	R3.12.10

## 2 展示事業

県民の多様なニーズに応えるため、展示を充実するとともに次の事業を実施した。

### (1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

#### ① 常設展示の充実

生物展示ホール及び岩畳紹介コーナー、鳥コーナー、埼玉の生物コーナー、地学展示ホール、岩石・化石コーナーの展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに、目新しさを演出した。

#### ② 「体験ゾーン」の維持管理

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ディスカバリーコーナーは利用を中止した。

### (2) 特別展の実施 \*（ ）は副担当

#### ① タイトル：「自然の博物館100年の軌跡 ～標本陳列所から自然史の足跡をたどる～」

期 間：令和3年10月30日（土）～令和4年2月27日（日）

会 場：企画展示室

見 学 者：18,862名

担 当：井上（小林）

概 要：前身の秩父鑛物植物標本陳列所から秩父自然科学博物館を経て、全国初の県立自然系総合博物館として開設した当館のあゆみとこれからの展望を紹介した。



- ② タイトル：「すみか ～身近なすみかを見てみよう～」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：令和3年7月10日(土)～令和3年8月31日(火)

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

見学者：20,071名

担 当：奥村(須田)

概 要：身を守る、餌を取る、子を育てるといった様々な目的で作られる動物の多様なすみかを写真や実物、資料で紹介した。

### (3) 企画展示の実施 \* ( )は副担当

- ① タイトル：「新収集品展」

期 間：令和3年4月1日(土)～令和3年6月20日(水) ※3月13日(土)から継続

会 場：企画展示室

見学者：16,118名 (前年度からの合計 18,167名)

担 当：小林(山岡)

概 要：平成27年度以降に新たに受け入れた、動物・植物・地質の各分野の資料を紹介した。



- ② タイトル：「ジオパーク秩父へ出かけよう！」

期 間：令和3年7月3日(土)～令和3年10月1日(日)

会 場：企画展示室

見学者：30,988名

担 当：山岡(小林)

概 要：ジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げながら、現地での楽しみ方を紹介した。



- ③ タイトル：「生きものの名前」

期 間：令和4年3月12日(土)～令和4年3月31日(木)

会 場：企画展示室

見学者：3,624名

概 要：和名、学名、埼玉県の地名に縁のある名前など自然界に見られる生きものには色々な名前が付けられている。本展示では当館が扱う資料を中心に名前の付き方やルールなどを紹介した。



### (4) パネル展示の実施 \* ( )は副担当

- ① タイトル：「自然博 研究最前線」

期 間：令和3年4月1日(木)～令和3年6月20日(水) ※1月30日(土)(2年度から継続)

会 場：2階廊下 パネル展示コーナー

見学者：16,118名 (前年度からの合計 18,167名)

担 当：曾根崎

概 要：自然の博物館で行われている調査研究を紹介した。



- ② タイトル：「関東のジオパーク」  
 期 間：令和3年6月22日（火）～令和3年10月17日（日）  
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー  
 見学者：35,564名  
 担 当：山岡（小林）  
 概 要：関東の6ジオパークそれぞれの代表的な写真を用いながら魅力を紹介した。
- ③ タイトル：「絵葉書・パンフレットから見る明治・大正の秩父・長瀨」  
 期 間：令和3年10月19日（火）～令和4年2月27日（日）  
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー  
 見学者：18,986名  
 担 当：井上（小林）  
 概 要：当館の前身にあたる「秩父鑛物植物標本陳列所」の開設から100周年を記念して実施した。各時代の秩父・長瀨の風景を観光パンフレットなどで紹介した。
- ④ タイトル：「カメラで撮る標本の世界」  
 期 間：令和4年3月1日（火）～令和4年6月19日（日） ※4年度に継続  
 会 場：2階廊下 パネル展示コーナー  
 見学者：4,521名  
 担 当：半田（三上）  
 概 要：昆虫をはじめとする標本をデジタルカメラで撮影し、肉眼では見ることの難しい微細な構造や発色などを写真で紹介した。

(5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「第12回（通算37回）自然科学展～さいたまの動物たち～」  
 期 間：令和3年7月17日（土）から令和3年8月29日（日）  
 会 場：熊谷市立熊谷図書館  
 見学者：2,207名  
 担 当：半田（曾根崎）  
 概 要：哺乳類、鳥類の剥製を展示し、埼玉県の自然を紹介した。

(6) 音声ガイド(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数	月	貸出数
R3年4月	※	R3年8月	※	R3年12月	※
R3年5月	※	R3年9月	※	R4年1月	※
R3年6月	※	R3年10月	※	R4年2月	※
R3年7月	※	R3年11月	※	R4年3月	※
				合 計	0

※新型コロナウイルス感染予防対策のため使用中止

### 3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、以下のような体験学習等の機会を提供しました。

全事業の参加者の合計 3,441 名

#### (1) 自然史講座

6回(6日)実施 参加者 108名

	期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	5.29(土)	河原の昆虫観察	荒川の河原で見られる昆虫を観察して、生態や形態の学習。	※	半 田 曾根崎
2	7.17(土)	昆虫標本をつくろう	複雑な形をしている昆虫を詳しく調べるための正しい昆虫の標本作り体験。	14	半 田 曾根崎
3	10.9(土)	講演会 「ジオパーク秩父 10年間の歩み」	認定 10 周年を迎えるジオパーク秩父の楽しみ方や今までの取組みの紹介。	21	山 岡 等々力
4	11.6(土)	初歩の鉱物学講座	実物の鉱物標本を使っての鉱物図鑑を作成と鉱物の基本や性質の学習。	10	小 林 山 岡
5	12.4(土)	研究発表会	県民向けに、地質、植物、動物などの分野から、職員や外部研究者の調査研究成果を発表。 会場：羽生勤労者総合福祉センター	30	須 田 奥 村
6	1.15(土)	挑戦！ 化石のレプリカづくり	実物からとった型をもとにしたレプリカの作成。化石と見比べながら色を付けて本物に近づけるよう仕上げる。	12	山 岡 等々力
7	1.29(土)	講演会 「日本地質学の曙と秩父」	特別展「自然の博物館 100年の軌跡」関連事業として、担当学芸員の展示紹介及び講演「ナウマンに導かれて」(講師：地質調査総合センター高橋雅紀氏)を実施。	21	井 上 山 岡

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

#### (2) 観察会

4回(4日)実施 参加者 62名

	期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
1	4.17(土)	春の岩畳観察会	長瀨駅を起点に博物館までを歩きながらの春の岩畳の自然の観察。	※1	小 林 木 山
2	5.15(土)	渡良瀬遊水地の自然観察	関東最大で、ラムサール条約登録湿地の春の自然の観察。	※1	井 上 曾根崎 飯 島
3	6.26(土)	国蝶オオムラサキ を見よう	嵐山町にある「オオムラサキの森 蝶の里公園」で、この時期に現れる国蝶オオムラサキを初めとする夏の昆虫をメインにした自然観察。	18	半 田 曾根崎 横 田

4	9.25(土)	古秩父湾ジオツアー	国の天然記念物指定地を訪れ、古秩父湾に思いを馳せる観察会。現地では化石採集も行った。	14	山岡 等々力 横田
5	10.2(土)	秋の岩畳観察会	長瀬駅を起点に博物館までを歩きながらの秋の岩畳の自然の観察。	18	三上 曾根崎 秋元
6	2.12(土)	カルカロドンの ふるさとを訪ねる	県指定天然記念物「カルカロドンメガロドン歯群化石」の産地で地層と化石の観察。	※2	山岡 小林 横田
7	3.5(土)	地学散歩 in 熊谷	湧水や水運に恵まれる一方、荒川の洪水と闘ってきた街である熊谷を歩きながらの地形と暮らしとの関わりを紹介。	12	井上 小林 飯島

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止      ※2 悪天候のため開催中止

(3) ミュージアムトーク \*イベントのない日曜日に開催予定

全37回を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止

(4) 各団体との共催・協力イベント

4回(34日)実施 参加者35名(集計可能な事業のみ)

	期 日	タ イ ト ル	内 容	会 場	参加者数
1	8.7(土)	特別展関連事業 「昆虫のすみか を探そう！」	昆虫博士と一緒にかわはく敷地内とその周辺を生きもののすみかを探しながらの観察。	川の博物館	21
2	7.17(土) ～ 9.26(日)	埼玉県博物館連絡協議会秩父地域館スタンプラリー (9館共催)	埼玉博連秩父地域館8館を巡るスタンプラリー。 ※1館は臨時休館中	9館	—
3	10.16(土)	埼玉県立総合教育センター 一般公開(総セン主催)	—	県立総合教育センター	※
4	11.20(土)	SL長瀬ミュージアム トレイン (特別展関連事業/ 主催:秩父鉄道株式会社)	SLパレオエクスプレス熊谷一寄居間において、鉄道敷設の歴史と地形との関係を車内放送で解説。	SLパレオエクスプレス 熊谷・寄居間	—
5	R4.1.29(土)	地質談義「伝統の宿で日本列島の成り立ちを語る」 (特別展関連事業/ 主催:養浩亭)	地質調査総合センター高橋雅紀氏による講演。日本列島の成り立ちや宮沢賢治と地質学の関わりについて、簡単な工作を交えた講演。	養浩亭	14
6	R4.3.1(土) ～ 3.31(木)	古秩父湾 スタンプラリー (秩父地区文化財保護協会主催)	天然記念物「古秩父湾」に指定された露頭5か所と当館の計6か所を巡るスタンプラリー。	自然の博物館 露頭5か所	—

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

## (5) その他事業

8回(57日)実施 参加者1,043名(集計可能な事業のみ)

	期日	タイトル	内容	会場	参加者数
1	5.22(土) ～ 6.20(日)	青もみじ ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭カエデや館内カルカロドン・メガロドン生体復元模型のライトアップを実施。	自然の博物館	—
2	5.12(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるため、昨年度の反省をもとに意見交換を行い、それに対する改善策等についての研修会の実施。	自然の博物館	※
3	7.14(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会の実施。	自然の博物館	※
4	7.15(木) ～ 7.21(水)	ミュージアムバトン 第1回	近代美術館、文書館、さいたま文学館、川の博物館と連携し、「大きなもの」をテーマに、各館展示・収蔵品・スポット等の tweet をつなぐ「ミュージアムバトン」を実施。	各館 twitter 上	—
5	7.16(金)	「長瀬観光の日」 記念イベント	長瀬町観光協会に協力し、来館記念水晶プレゼントを実施。	自然の博物館	148
6	11.10(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、特別展、パネル展に関する研修会の実施。	自然の博物館	7
7	10.26(火) ～ 10.30(土)	ミュージアムバトン 第2回	文書館、さいたま文学館、川の博物館と連携し、「古いもの」をテーマに、各館展示・収蔵品・スポット等の tweet をつなぐ「ミュージアムバトン」を実施。	各館 twitter 上	—
8	11.12(金) ～ 11.23 (火・祝)	紅葉 ライトアップ	長瀬町観光協会とタイアップして、館庭カエデや館内カルカロドン・メガロドン生体復元模型のライトアップを実施。	自然の博物館	—
9	11.14(日)	県民の日 記念イベント	県民の日クイズ、来館記念水晶プレゼント、友の会のブース設置等を実施。	自然の博物館	881
10	R4. 3.23(水)	ボランティア 展示解説研修	ボランティア解説員の力量を高めるための、企画展、パネル展に関する研修会の実施。	自然の博物館	7

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

**(6) 学校、社会教育関係団体等への学習支援****33件 人数1,163名****(オンライン配信の会の人数は含めない)**

理科や総合的な学習の時間、環境教育等において、出前授業の実施、講義・講演会の講師派遣により支援を行いました。

**① 学校への支援****21件 人数791名**

番号	日時	学校名・学校関係団体名	学年	人数	種別	内容
1	5.7(金)	秩父市立久那小学校	小5/6	20	体験学習	岩畳の観察
2	6.8(火)	武南中学校	中1	52	体験学習	岩畳の観察
3	6.10(木)	秩父市立高篠小学校	小4	39	体験学習	水生昆虫の観察
4	6.15(火)	武南中学校	中2	26	体験学習	岩畳の観察
5	6.18(金)	さいたま市立大宮北高等学校	高1/2	19	体験学習	長瀬の地質と水生昆虫の観察
6	7.16(金)	埼玉県立熊谷西高等学校	高1	42	体験学習	岩畳の観察
7	9.17(金)	深谷市立幡羅小学校	小6	72	出前授業	土地のつくりと変化
8	10.6(水)	皆野町立国神小学校	小6	21	体験学習	地層の観察
9	10.8(金)	さいたま市立大宮国際中等教育学校	3年	10	体験学習	長瀬の地質と水生昆虫の観察
10	10.14(木)	横瀬町教育委員会	小6	62	出前授業	古秩父湾について
11	10.21(木)	秩父市立秩父第一小学校	小6	26	体験学習	岩畳の観察
12	10.22(金)	寄居町立寄居小学校	小6	54	出前授業	土地のつくりと変化
13	11.12(金)	秩父市立秩父第一小学校	小5	27	体験学習	化石採取
14	11.17(水)	秩父市立荒川西小学校	小5	14	体験学習	化石採取
15	11.26(金)	深谷市立榛沢小学校	小6	41	出前授業	土地のつくりと変化
16	12.3(金)	新座市立陣屋小学校	小6	79	出前授業	土地のつくりと変化
17	12.8(水)	皆野町立皆野小学校	特支	10	出前授業	タネのはなし
18	12.10(金)	自由学園初等部	小5	32	体験学習	化石採取
19	12.10(金)	皆野町立皆野小学校	小6	67	出前授業	土地のつくりと変化
20	12.16(木)	大妻嵐山中学校	中2	53	体験学習	岩畳の観察
21	1.14(金)	深谷市立川本南小学校	小4	25	体験学習	岩畳の観察

※当館周辺や虎岩での石碑や自然の解説…13団体

**② 社会教育関係団体等への支援****12件 人数372名(オンライン配信の会の人数は含めない)**

番号	日時	社会教育関係団体・施設名	学年	人数	種別	内容
1	6.10(木)	羽生市立郷土資料館	一般	14	講座・講演	資料の収集・保管・展示について
2	7.31(土)	埼玉県立歴史と民俗の博物館	一般	60	講座・講演	太平絵巻の基礎知識
3	8.7(土)	埼玉県立川の博物館	小学生～一般	20	体験学習	動物のすみかの観察
4	10.3(日)	埼玉県立自然の博物館友の会	一般	9	体験学習	植物分野の総合観察会
5	10.10(日)	埼玉県芸術文化振興財団	一般	50	講座・講演	建築セミナー
6	10.27(木)	久喜高齢者大学	一般	22	体験学習	岩畳の観察

7	11.9(火)	渋沢栄一記念館	オンライン配信 ※人数は不明		講座・講演	渋沢栄一生地周辺の地形について
8	11.25(木)	埼玉県越谷環境管理事務所	一般	16	講座・講演	埼玉県の外来生物
9	12.7(火)	所沢市生涯学習センター所沢市民大学	一般	64	体験学習	岩畳の観察
10	1.27(木)	埼玉大学教育学部生物学研究室	一般	15	講座・講演	宝蔵寺沼ムジナモ自生地の植物について
11	2.9(水)	東松山きらめき市民大学	一般	74	講座・講演	埼玉の自然環境と植物
12	3.29(火)	日本宇宙少年団さいたま支部	主に小学生	28	体験学習	岩畳の観察

(7) 各種研修会・教育研究団体の受入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会を掲載。

1回(1日)実施 参加者54名

(10.29(木)中学校初任者研修(理科)については、「教員のための博物館の日」に位置付ける。)

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
9.16(木)	中学校5年経験者研修 教科等コース(理科)	「埼玉産岩石標本の同定方法」の観察実習	※	小林 横田
10.28(木)	中学校初任者研修 教科別研修(理科)	(オンライン講義) 博物館を利用した理科教育	54	横田

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(8) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入れ

1回(5日)実施 参加者9名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	備 考
8.3(火)~8.11(水) ※8.7(土)、8.8(日)は休み	博物館学芸員実習	展示・資料整理・教育普及 等博物館業務の実務実習。	9	東京農業大学(4) 日本大学(2) 立正大学(2) 宮崎大学
※今年度依頼なし	県庁インターンシップ	入館者対応の補助業務、博 物館グッズの袋づめなど 業務の補助。	—	
2.2(水)~2.4(金)	障害者県庁職場実習	広報用グッズづくりの実習	※	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(9) 自然の博物館友の会の活動への支援

5回(5日)実施 参加者967名

期 日	タイトル	内 容	参加者数	担当者
5.9(日)	岩畳の自然観察会	春の岩畳観察会に同行し解説。	※	山岡 曾根崎
5.23(日)	植物観察会	玉原湿原(群馬県)での植物観察会に同行し、 解説。	※	須田
6.13(日)	動物観察会	釜伏山の動物観察会に同行し解説。	※	半田

7.25(日) 7.26(月)	宿泊観察会	長野県乗鞍岳と千畳敷カールの植物観察会に同行し解説。	※	小林
10.3(日)	総合観察会	江戸川河川敷の観察会に同行し解説	10	三上
11.14(日)	県民の日イベント	ミニショップの運営と友の会の活動内容を紹介するブースを提供。	881	曾根崎 井上
1.30(日)	地質観察会	深谷市荒川左岸で化石を中心とした地質観察会に同行し解説。	27	山岡
2.13(日)	交流会	自然の博物館で、動物・植物・地質の各分野の話題提供後の情報交換での指導助言。	22	曾根崎
3..27(日)	植物観察会	長瀬町風布で春植物を観察する観察会に同行し解説	27	—

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

#### (10) ボランティアスタッフの受入れ

生涯学習や自己実現の場を提供し、博物館活動の質を高めることを目的とする重要なパートナーとして、受け入れた。

ボランティアスタッフ 20名 (①～④の重複者あり) 延べ活動日数 101日

- ① 展示解説ボランティア 10名 観覧者に対する展示解説。
- ② 普及事業ボランティア 15名 観察会・講座等の事業の補助。
- ③ 資料整理ボランティア 13名 標本化作業の補助。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア 10名 博物館の調査研究・資料収集の補助。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示解説は活動休止

(11) 各種印刷物の刊行・配布

特別展や企画展、各イベント等あるいは博物館の活動を広く周知するため、下の表1のとおりポスター、リーフレット、チラシ、図録を作製・配布した。

(表中の「主な配布先」の記号については、表2を参照)

表1

印刷物名	部数	主な配布先
埼玉県立自然の博物館報 第16号	100部	B
埼玉県立自然の博物館研究報告 第16号	600部	BFG
イベント展示案内(ミュージアムカレンダー) ①前期・②後期(年間イベント案内)	①100,000部 ②30,000部	ABCDEF
自然の博物館ニュースレター「澗」 第37号～第38号	900部	BFG
企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」 ①ポスター ②チラシ	①400部 ②15,000部	BCDEFG
特別展「自然の博物館100年の軌跡ー標本陳列所から自然史の足跡をたどるー」 ①ポスター ②チラシ ③解説書(図録)	①400部 ②15,000部 ③1,000部	BCDEFG BCDEFG BFG
川の博物館特別展「すみか～身近なすみかを見てみよう～」 ①ポスター ②チラシ ③解説書	①520部 ②21,500部 ③750部	ABCDEFG
企画展「生きものの名前」 ①ポスター ②チラシ	①400部 ②15,000部	BCDEFG

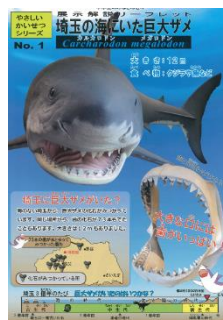
表2

A	県内小・中学校及び市町村教育委員会
B	県庁内関係各課、博物館、地域振興センター、図書館等県の施設
C	長瀨町観光協会、長瀨町内各事業所(店舗、観光施設等)
D	県北地域の道の駅、宿泊施設、観光施設等
E	秩父鉄道、西武鉄道の各駅及び関連施設
F	市町村文化会館、公民館、図書館等の公共施設
G	県外博物館

そのほか、自然史講座や観察会のテキスト、展示解説リーフレット、自然の博物館利用ガイドステキストなどを必要に応じて作成・印刷し、配布した。



ミュージアムカレンダー  
(イベント案内)



展示解説リーフレット  
「やさしいかいせつシリーズ」



研究発表会要旨集



ニュースレター「澗」37号



## (12) レファレンス数

一般市民をはじめ、マスメディア各社等へのレファレンス数

月	動物分野	植物分野	地質分野	その他	合計
令和3年4月	14	9	7	1	31
令和3年5月	24	9	13	1	47
令和3年6月	34	15	20	2	71
令和3年7月	22	12	19	7	60
令和3年8月	13	6	39	2	60
令和3年9月	13	11	15	6	45
令和3年10月	15	19	21	6	61
令和3年11月	13	19	18	5	55
令和3年12月	5	11	14	4	34
令和4年1月	7	3	16	7	33
令和4年2月	1	9	16	1	27
令和4年3月	7	7	17	1	32
<b>合計</b>	<b>168</b>	<b>130</b>	<b>215</b>	<b>43</b>	<b>556</b>

レファレンス対応を行った主なマスメディアは、NHK テレビ、テレビ埼玉、毎日新聞、東京新聞、埼玉新聞等。

## (13) 広報・広聴の推進

ア Web（ホームページ、ツイッター）での情報発信とアクセス数

特別展や企画展、各イベントに関する情報をはじめ、周辺で見られた季節の移り変わりの様子や出来事などをホームページやツイッターで情報を発信した。

	ホームページ		ツイッター	
	アクセス数	更新回数	ツイート数	ツイートインプレッション数
令和3年4月	49,202	13	50	276,447
令和3年5月	53,894	32	80	282,453
令和3年6月	43,399	36	59	161,716
令和3年7月	43,427	7	120	405,703
令和3年8月	68,625	15	180	392,986
令和3年9月	47,150	16	104	150,151
令和3年10月	49,218	21	150	444,052
令和3年11月	49,351	28	186	225,440
令和3年12月	51,042	45	91	228,542
令和4年1月	44,992	29	84	247,942
令和4年2月	46,518	18	201	210,156
令和4年3月	52,225	17	165	201,635
<b>合計</b>	<b>599,043</b>	<b>277</b>	<b>1,470</b>	<b>3,227,223</b>

\* インプレッションとは、ツイートが表示された回数を表す。

イ メディア等への情報提供

特別展・企画展や各イベント情報及び当館概要の提供先

種類	主 な 提 供 先
新聞 テレビ ラジオ	埼玉県政記者クラブ（埼玉新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日刊工業新聞、公明新聞、フジサンケイビジネスアイ、共同通信、時事通信、NHK、テレビ東京、テレビ埼玉、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日）、埼玉中央よみうり、埼玉よみうり、埼玉東よみうり、FM 茶笛、ちちぶ FM
web	○県関連サイト ちよこたび埼玉（埼玉県公式刊行サイト）、生涯学習ステーション、自然大好きクラブ、イーシティさいたま、まいたま ○その他各事業者運営サイト るるぶ、ナビタイムジャパン、協同組合インフォメーション、イベントバンク、Dokka!おでかけ探検隊、いこーよ、ジョルダン、彩北なび！、リビングさいたま、kadokawa ニュースウォーカー、まっふる、秩父おもてなし TV
広報紙 機関紙 情報誌等	○地方自治体関係 県教委だより、彩の国だより、県民手帳 ○その他各事業者 秩父鉄道広報紙「パレット」、なびまる秩父、全科協ニュース、リセママ、ちちぶマガジン、東上沿線物語、あんふあん、ぶぎんレポート、博報堂ケトル、ぶらぶら美術館、コープみらい、イオン各店舗



いたやん



ぶんまる



ほそかわさん



だいこくん



西川親方



どんちゃん



におしめ



大野原おさむ

当館のマスコットキャラクター達

#### 4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施した。

##### (1) 資料の登録(令和3年度新規登録資料) 合計5,692点

###### ① 地質分野の標本の登録

・ 鉱物(Mi)	33	・ 無脊椎動物化石(MoF)	20
・ 化石 脊椎動物化石(VeF)	1	・ その他無脊椎動物化石(OIF)	14

合計 68

###### ② 動物分野の標本の登録

・ 哺乳類(Ma)	1	・ 魚類(Pi)	5
・ 昆虫 無翅昆虫(Am)	1,588	・ ダニ類(Ac)	26
有翅昆虫(In)	2,333		

合計 3,953

###### ③ 植物分野の標本の登録

・ 種子植物 被子植物(As)	1,558	・ シダ植物(Pt)	88
・ 裸子植物(Gy)	3	・ 藻類(A1)	22

合計 1,671

##### (2) 現有資料点数(令和3年度新規登録資料含む)

###### 〈地 質〉

岩石(Ro)	1,404	化石	藻類化石(A1F)	113
岩石・鉱物スライド(RMS)	688		脊椎動物化石(VeF)	819
鉱物(Mi)	5,493		甲殻類化石(CrF)	327
地質構造標本(Gs)	40		昆虫化石(InF)	237
第四紀火山砕屑物(Qu)	42		無脊椎動物化石(MoF)	4,886
その他地質資料(OG)	649		その他の無脊椎動物化石(OIF)	791
ボーリング資料(Bo)	68		化石スライド(AFS、PFS、OFS)	1,665
化石 植物化石(P1F)	2,430		生痕化石(TrF)	106
			菌類化石(FuF)	2

合計 19,760

###### 〈動 物〉

脊椎動物 哺乳類(Ma)	601	節足動物 クモ類(Ar)	19
鳥類(Av)	907	ダニ類(Ac)	27
爬虫類(Re)	155	その他の蛛形類(Ad)	2
両生類(Am)	203	甲殻類(Cr)	111
魚類・円口類(Pi)	228	多足類(My)	22
昆虫類 有翅昆虫類(In)	29,120	無脊椎動物 軟体動物(Mo)	1,965
無翅昆虫類(Ap)	38,226	その他の無脊椎動物(Iv)	26

合計 71,612

###### 〈植 物〉

種子植物 被子植物(As)	60,054	菌類(Fu)	3,005
---------------	--------	--------	-------

裸子植物 (Gy)	454	地衣類 (Li)	8,592
シダ植物 (Pt)	7,015	藻類 (Al)	44
コケ植物 (Br)	3,161	植物スライド (PIS)	303
		合計	82,628
			総計 174,000

### (3) 受入資料

本年度に受け入れた資料は以下のとおり。

#### ① 寄贈資料

番号	分野	資料名	点数	寄贈日
1	植物	菌類細密画	38点	R3. 5. 12
2	動物	タイリク (シンリン) オオカミ	1点	R3. 7. 13
3	動物	昆虫標本 (コウチュウ類)	10,775点	R3. 8. 2
4	地質	紅簾石	32点	R3. 10. 11
5	動物	カマアシムシ類標本	1,588点	R3. 11. 29
6	動物	サシガメ類標本	3点	R3. 12. 1
7	動物	オオゴキブリ標本	9点	R3. 12. 16
8	動物	水生昆虫各種	14点	R3. 12. 23
9	動物	スゲハムシ標本	8点	R4. 1. 17
10	動物	セスジガムシ標本	2点	R4. 1. 17

#### ② 提供資料

地質 543 件、植物 11 件、動物 14 件

\* 「提供資料」とは、同定や標本化等が必要となる未整理の状態を受け入れたもの。これらの資料は標本化していないものも含む。

### (4) 資料管理

#### ・ IPM に基づいた環境調査

館内 39 カ所に捕虫器を仕掛け、毎月 1 回 (月末) に回収、捕獲したものの中から資料に影響を及ぼす可能性のある昆虫を確認し、それに基づく環境管理を行なった。

館内外 12 か所にデータロガーを設置し、毎月 1 回 (月末)、1 か月分の温湿度データを確認し、それに基づく環境調査を行った。

#### ・ 収蔵資料点検

館有資料所在点検実施計画に基づき、本年度に確認した館有資料は以下のとおり。

分野	照合点数	実施回数
動物	6,600点	9回
植物	6,126点	7回
地質	1,398点	8回
合計	14,124点	24回

### (5) 資料の特別利用

件数 21 件 点数 1,836 点

### (6) 資料の館外貸出

件数 12 件 点数 632 点

(7) 館有資料の展示活用

① 館内での活用 合計 1534 点

(内訳)

- ・常設展 1130 点
- ・特別展「自然の博物館 100 年の軌跡」 44 点
- ・企画展「ジオパーク秩父出かけよう！」 99 点
- ・企画展「生きものの名前」 261 点

② 館外での活用 合計 283 点

(内訳)

- ・特別展「すみか ～身近なすみかを見てみよう～」 89 点  
(企画：自然の博物館、実施・運営：川の博物館)
- ・共催展「第 12 回 (通算 37 回) 自然科学展～さいたまの動物たち～」  
熊谷市立熊谷図書館 194 点

(8) 収蔵資料の web 公開

収蔵資料の一部を画像として当館ホームページに公開している。

- ① ベストコレクション 10 点
- ② 分野別資料 67 点 (動物 25 点、植物 22 点、地質 20 点)

(9) 生物多様性標本情報データベースへの公開

全国の自然系博物館及び大学の収蔵標本情報を検索することができる「自然史標本情報データベース」に館有資料の情報を提供し、全世界に公開している。提供件数 108,700 件

(10) 図書資料の収集・整理と活用

資料収集活動の一環として、自然史分野に関係した図書資料を収集。多くは当館刊行物との交換によるもの。

- ① 図書資料の収集・整理 216 冊 (文献交換によるもの含む)
- ② 文献交換状況

当館の研究報告・資料目録・展示図録・ニュースレターと、国内外の博物館、大学研究所などの文献と交換を行っている。

(交換先) 国内 298、国外 20

(11) 自然と川の博物館資料評価委員名簿 (令和 2・3 年度)

○専門委員 (敬称略)

氏名	役職
石田 健	元東京大学准教授
山口 征矢	東京海洋大学名誉教授
松原 聰	国立科学博物館名誉館員・名誉研究員
富田 幸光	国立科学博物館名誉研究員
木場 英久	桜美林大学教授
清水 晃	東京都立大学客員研究員 / (財) 進化生物学研究所客員研究員

※その他、行政委員として、会計管理課長、財務課長、文化資源課長

## 5 調査研究事業

### (1) 総合研究テーマ「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」

標記のテーマに基づき分野別研究テーマと個人研究テーマを設け、調査研究にあたった。

#### ① 分野別研究テーマ

- ・自然分野：埼玉の自然に関する研究
- ・環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究

#### ② 個人研究テーマ

- ・君島 勝秀 縄文時代における漆工に関する研究—埼玉領域を中心に—
- ・井上 素子 ①令和元年水害の被害状況について  
②埼玉県における自然史及び博物学史に関する研究
- ・須田 大樹 ①県内の植生・維管束植物分布に関する研究  
②コナラ属隔離分布種の生態に関する調査研究  
③カエデ属の分布・分類に関する研究
- ・小林 まさ代 ①県内鉱山に関する調査  
②特別展「蛇紋岩」に関する調査
- ・奥村 みほ子 埼玉県内における野生脊椎動物（特に哺乳類）の生息状況の解明
- ・半田 宏伸 埼玉県内のセイボウ上科の分布調査
- ・山岡 勇太 埼玉県産の貝化石に関する研究
- ・等々力 政彦 埼玉県内のアブラナ科地場野菜
- ・三上 忠仁 加須市北篠崎の浮野の希少植物群落に関する研究

### (2) 研究業績の公表

(1)の研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するよう努めた。

#### ① 当館が発行した刊行物

ア 埼玉県立自然の博物館研究報告 第16号（ゴシック体：当館職員）

原著論文2件、短報10件、資料5件を掲載。

#### ○ 原著論文

- ・埼玉県秩父盆地の中新統から産出したゴカクウミユリ類化石 堀口繁昌・小幡喜一 1-10
- ・所沢観測井における軽石層の記載と周辺坑井および地表との対比  
加藤 進・檀原 徹・山下 透 11-20

#### ○ 短報

- ・埼玉県内にはミネカエデ *Acer pellucidobracteatum* は分布しない  
齋藤 透・加藤佳英・林 由季子・須田大樹 21-24
- ・埼玉県入間地域におけるマヤランおよびサガミランの分布状況と生態  
市場 至・鐵 慎太郎 25-28
- ・ムヨウラン属（ラン科）を埼玉県秩父地方に記録する 齊藤 忠 29-32
- ・長瀨岩畳の四十八沼における *Volvox aureus* Ehrenberg の季節的消長 平 誠 33-36
- ・埼玉県におけるシロズヒラタハバチの初記録 半田宏伸・真野 博・真野樹子 37-40
- ・埼玉県におけるキマダラズアカクモバチの追加記録 半田宏伸・曾根崎猛史 41-44
- ・埼玉県所沢市におけるスゲハムシの記録 岩田泰幸・児嶋 翼 45-48

・オオゴキブリの埼玉県から初めての記録	新井浩二	49-52
・埼玉県におけるベルルスカクマダニ(新称)の初記録 (英文)	高橋 守・三角仁子・馬場裕美・角坂照貴・藤田信子・藤田博己	53-58
・埼玉県秩父市におけるモリアブラコウモリ <i>Pipistrellus endoi</i> の記録	大沢夕志・大石 章・大沢啓子・勝田節子・佐藤顕義	59-60
○ 資料		
・埼玉県加須市北篠崎にある浮野の水生植物リスト	三上忠仁	61-64
・狭山丘陵の都立公園におけるタチスゲ <i>Carex maculata</i> Boott の記録	舟木匡志・久保田潤一・山下洋平	65-68
・県初記録 18 種を含む埼玉県におけるアリガタバチ類の記録	半田宏伸・辻井健太郎	69-76
・嵐山町の水田で確認した絶滅危惧種を含む真水生コウチュウ目の生息状況と 既知記録の整理	内田大貴・岩田泰幸	77-84
・埼玉県に分布するキジラミ類 (カメムシ目: 腹吻亜目)	野澤雅美	85-96
イ ニュースレター「漣」		
○ 37号		
・企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」	山岡 勇太	2-3
・特別展「自然の博物館 100 年の軌跡 — 標本陳列所から自然史の足跡をたどる —」	井上 素子	4-5
・チチブリンドウのはなし	等々力政彦	6-7
・表紙解説	飯島 俊	8
・催し物のお知らせ (10月~3月)	秋元 清二	8
○ 38号		
・企画展「生きものの名前」	半田 宏伸	2-3
・ジオパーク秩父 祝! 日本ジオパーク再認定	山岡 勇太	4-5
・新収集品の紹介 — 日本各地の紅簾石標本 —	小林まさ代	6-7
・コラム	三上 忠仁	8
・展示のお知らせ (4月~9月)	秋元 清二	8
・表紙解説	横田 淳	8
ウ 令和3年度研究発表会資料集 (通算第26回)		
羽生市教育委員会の共催のもと羽生市郷土資料館で行った研究発表会 (普及講演1件、研究発表4件) の資料をまとめたもの。		
○ 普及講演		
「ムジナモ自生地と羽生市内の植物」	三上 忠仁	
○ 研究発表		
「アリから見る羽生市の自然」	曽根崎猛史	
「特別展「すみか」の裏事情~展示に向けたトビケラ類幼虫 ・アリジゴク等調査について~」	奥村みほ子	
「秩父市吉田の石間川に分布する秩父帯付加体のチャートおよび		

珪質岩相にみられるスランプ構造について」 外部研究者 長谷河初男・関根一昭  
「秩父鉄道の延伸と地質学—特別展「自然の博物館100年の軌跡」から—」

井上 素子

エ 特別展「自然の博物館100年の軌跡—標本陳列所から自然史の足跡をたどる—」 展示解説書 井上 素子

オ 特別展「すみか ～身近なすみかを探してみよう～」 展示解説書 奥村みほ子

## ② 個人論報文・発表

学芸職員による8件の論報文の公表、学会等での発表を行った。

### ○ 山岡 勇太

・絶滅種イタヤガイ科二枚貝 *Amussiopecten praesignis* の微細成長線解析からみた生活史.  
日本地質学会四国支部会. (ポスター発表・連名)

・更新統穴内層より産出した *Mizuhopecten tokyoensis hokurikuensis* (二枚貝, イタヤガイ科) の日成長量変動と酸素同位体比プロファイル. 高知大学海洋コア: 令和3年度共同利用・共同研究成果発表会. (口頭発表・連名)

### ○ 三上 忠仁

・NPO 法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団, 2021. 2021 年外来種報告 (イトツメクサ・ヘラバヒメジョオン・ベニシタン). さいたま植物通信: 52:5-7

・三上忠仁, 2022. ムジナモ自生地における植生の現状と課題 (口頭発表). 埼玉大学令和3年度ムジナモ研究報告会

### ○ 井上 素子

・埼玉新聞連載「自然の博物館100年の軌跡 上」 埼玉新聞社

・埼玉新聞連載「自然の博物館100年の軌跡 中」 埼玉新聞社

・埼玉新聞連載「自然の博物館100年の軌跡 下」 埼玉新聞社

## (3) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業 (通常調査)

カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料を得た。通常調査6か年中の4年目。(期間: 令和3年4月1日~令和4年3月31日)

## (4) 自然遺産基礎調査「入間川流域自然遺産調査」

令和元年度からの4ヵ年計画の3年目で、実質的調査を行った。

### ①動物分野

・入間川流域にあたる飯能市の2ヵ所、川島町の1ヵ所で、マレーズトラップを用いて昆虫相調査を実施した。

・入間川上流の2ヵ所で、哺乳類の生息調査を行なった。

### ②植物分野

・入間川流域の溪谷林・冷温帯常緑樹林の植物相調査を行った。

### ③地質分野

・入間川流域の化石産地調査を行った。



(5) 外部研究者

① 外部研究者の受入れ

令和3年度に受け入れた外部研究者は以下の25名。

	氏名	テーマ	分野	担当者
1	石井克彦	・ガロアムシに関する研究 ・埼玉県における生き物の方言について ・埼玉県に侵入した外来生物の研究 ・トウキョウサンショウウオの現状把握 ・ニッコウムササビの分布調査	動物 1	曾根崎
2	岩田泰幸	埼玉県の水生昆虫類の生態及び分布に関する研究	動物 2	曾根崎
3	碓井 徹	入間川流域の昆虫相データベースの構築	動物 3	曾根崎
4	内田大貴	埼玉県立自然の博物館魚類コレクションから見た過去の埼玉県の魚類相	動物 4	曾根崎
5	大堀里奈	埼玉県における哺乳類の生息について	動物 5	曾根崎
6	奥田恭介	埼玉県におけるカメムシ目昆虫相の研究	動物 6	曾根崎
7	金子陽子	花粉分析による古環境の復元	地質 1	井上
8	小林健助	花粉分析による古環境の復元	地質 2	井上
9	佐藤 健	埼玉県内における緩歩動物門クマムシの生息分布状況の研究	動物 7	曾根崎
10	鈴木幸枝	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植物を調べる	地質 4	井上
11	清家一馬	ウィズコロナ下で実施する環境教育の実習教材の開発	地質 5	井上
12	関根一昭	埼玉県秩父地域に分布する秩父帯、特に角礫岩およびスランプ様構造の成因に関する地質学的研究	地質 6	井上
13	平 誠	秩父地方におけるセツブンソウの繁殖生態とその特性	植物 1	須田
14	鐵 慎太郎	埼玉県と岡山県の維管束植物相の比較を目的とした植物相調査	植物 2	須田
15	中村修美	カマアシムシ類の分類と生物地理	動物 8	曾根崎
16	楡井 尊	関東内陸部における第四系の古環境と古気候変動に関する研究	地質 7	井上
17	野澤雅美	埼玉県のカメムシ相に関する研究 カスミカメムシ類及びキジラミ類を中心として	動物 9	曾根崎
18	逸見紀章	展示や教材として使用するための標本の作製	動物 10	曾根崎
19	本間岳史	1 板碑の石材およびその採掘地等に関する研究 2 長瀨の地質および研究史に関する研究	地質 8	井上

		3 ジオパークに関する研究		
20	牧野彰吾	維管束植物の県内分布について	植物 3	須田
21	本多由巳子	尾瀬ヶ原のボーリングコアを使用して関東地方の古植生を調べる	地質 9	井上
22	町田和彦	哺乳類の生態および分類の研究 ー特にコウモリ類を対象にー	動物 11	曾根崎
23	三上忠仁	加須市北篠崎にある浮野の水生植物リスト	植物 4	須田
24	山下 裕	加治丘陵・狭山丘陵における県希少植物の調査	植物 5	須田
25	吉田考造	地衣の分類学的研究とフローリスチックな研究	植物 6	須田

② 外部研究者による研究実績の公表（2022 年度末現在）

○ 石井 克彦

石井 克彦, 2018 年度調査報告「トウキョウサンショウウオ：長期調査で分かった個体群の衰退と絶滅」<sup>[16]</sup> 東京都多摩地区における 2018 年度生息状況調査報告書-

○ 碓井 徹

碓井 徹, 2021. 上尾市自然学習館 指導員研修 講師（3回）

碓井 徹, 2022. 2 月. 標題『水辺とトンボ』. 国交省荒川上流河川事務所 職員向け Web 講習会にてレクチャー。

以下, 報文

碓井 徹, 2021. 碓井 徹 : 上尾市で 4 月上旬にギンヤンマを確認. 寄せ蛾記, (181): 22.

碓井 徹, 中国製竹箒に関する覚え書き (3). 寄せ蛾記, (184): 投稿中. 今年度の刊行予定

碓井 徹, 音楽の中の虫たち (15) [コスレイ“アメンボ”]. 寄せ蛾記, (184): 投稿中. 今年度の刊行予定

碓井 徹, 橋本良一コレクション報 (2). 寄せ蛾記, (184): 投稿中. 今年度の刊行予定

○ 内田 大貴

内田大貴・山川宇宙・碧木健人・皆川優作・神田雅治, 2021. 埼玉県で確認された外来種チュウゴクスジエビ *Palaemon sinensis*. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 15 : 33-36.

神田雅治・岩田泰幸・内田大貴, 2021. 埼玉県におけるキボシケシゲンゴロウおよびキボシツブゲンゴロウの初記録. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 15 : 41-44. (2021 年 3 月に刊行予定)

内田大貴・久保田潤一・金本敦志・中村孝司・舟木匡志, 2021. 神奈川県三浦市で確認されたガ科魚類の外来魚 *Lepisosteus oculatus*. 神奈川自然誌資料, 42 : 印刷中. (2021 年 3 月に刊行予定)

内田大貴・北野 忠・佐野真吾・古旗峻一・渡部晃平, 2021. 奄美群島加計呂麻島で記録された水生半翅類. *Rostria*, (66) : 印刷中 (2021 年 3 月に刊行予定)

古旗峻一・内田大貴・栗田和弥, 2020. 東京都多摩川水系大丸用水で確認された魚類. 伊豆沼・内沼研究報告, (14) : 113-122.

舟木匡志・東浜敬輔・久保田潤一・金本敦志・中村孝司・内田大貴, 2021. 都立野山北・六道山

公園でのかいぼり後に発生したオオクチバスの違法放流について. ポテジャコ : 印刷中 (2021年3月に刊行予定)

○ 奥田 恭介

奥田恭介・岩田泰幸, 2021. さいたま市におけるコオイムシの採集記録. 寄せ蛾記 (182), 35-36.

奥田恭介, 2021. 東松山市におけるマルクビツチハンミョウの採集記録. 寄せ蛾記 (181), 20.

野澤 雅美・田悟 敏弘・奥田 恭介・室 紀行, 2021. 秩父市でヒゲブトハナムグリを採集. 寄せ蛾記, (177) : 40.

奥田恭介, 2021. <東京大学秩父演習林の昆虫類データベース> 東京大学秩父演習林とその周辺地で記録した昆虫 異翅類(第2報). 寄せ蛾記 (182), 1-8

Kyosuke Okuda & Zhuo Chen 2021 Notes on the little-known assassin bug, *Pygolampis breviptera* Ren (Heteroptera, Reduviidae, Stenopodainae). *Japanese Journal of Systematic Entomology* 27 (1): 141-144.

Kyosuke Okuda, 2021. Re-description of the assassin bug species *Pygolampis striata* Miller, 1940 with new distributional records from Japan and Indonesia (Heteroptera, Reduviidae, Stenopodainae). *Biodiversity Data Journal* (9): e63695.

Ryo Nakamura & Kyosuke Okuda, 2021. First record of the assassin bug genus *Neothodelmus* Distant (Hemiptera: Heteroptera: Reduviidae) from Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology* 27(2) 321-323.

○ 佐藤 健

佐藤健, 2021. クマムシの採取と保存方法 (口頭発表). 第50回関東理科教育研究発表会埼玉大会分科会.

○ 清家 一馬

石川牧子・清家一馬, 2022, 建物壁面石材を用いた大学での環境科学教材の開発. 動物研究, 第4号, 1-13. (校正中, 3月中出版)

○ 関根 一昭

関根一昭・長谷河初男, 2021. 「秩父市吉田の石間川に分布する秩父帯付加体にみられるスランプ構造について」自然の博物館主催の研究発表会にて発表 (12月)

○ 平 誠

長瀬岩壘の四十八沼における *Volvox aureus* Ehrenberg の季節的消長. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 16 : (出版予定)

武甲山でスギランの生育を確認. さいたま植物通信, 第52号 : 1. (関口隼人氏との共著)

令和3年度「県内希少野生動植物種」植物種選定調査報告書. NPO法人埼玉県絶滅危惧植物種調査団 (共著).

○ 鐵 慎太郎

鐵 慎太郎・星野 義延・吉川 正人, 2021. 神奈川県三浦半島の岩石海岸における草本群落の立地条件および保全上重要な種との結びつき. 植生学会誌, 38 : 17-35.

鐵 慎太郎, 2021 コケモモ (ツツジ科) を岡山県内で再確認. しぜんしくらしき, 119 : 2-3.

鐵 慎太郎・溝手啓子, 2021. 岡山県新産の帰化植物ナタネタビラコ *Lapsana communis* L. (キク科). しぜんしくらしき, 119 : 4-5.

鐵 慎太郎, 2022. ドイツ自然観察記1 - 北海沿岸の砂丘後背地の自然 -. しぜんしくらしき,

120 : 12-16. (3 月中に出版予定)

市場 至・鐵 慎太郎, 2022. 埼玉県入間地域におけるマヤランおよびサガミランの分布状況と生態. 埼玉県立自然の博物館研究報告, 16 : 25-28. (3 月中に出版予定)

鐵 慎太郎・木山 加奈子・須田 大樹・岩田豊太郎, 2022, 埼玉県におけるクジュウツリスゲの分布と現在および過去の植生との関係 (ポスター発表、オンライン). 植生学会第 26 回 (オンライン) 大会

○ 中村 修美

Nakamura, O., 2021a. Three New Species of the Family Eosentomidae (Protura) from the Nasu Imperial Villa, Central Japan. *Species Diversity*, **26**: 111–125.

Nakamura, O., 2021b. The Japanese species of the genus *Gracilentulus* (Protura: Acerentomidae). *Zootaxa*, **4991** (2): 271–294.

○ 楡井 尊

Sakio, H., Nirei, T. 2022. Is the High Proportion of Males in a Population of the Self-Incompatible *Fraxinus platypoda* (Oleaceae) Indicative of True Androdioecy or Cryptic-Dioecy?, *Plants*, 11, 753

○ 野澤 雅美

野澤雅美, 2021. クスベニヒラタカスミカメを深谷市から確認. 寄せ蛾記(180) : 11. 埼玉昆虫談話会.

野澤雅美・田悟敏弘・奥田恭介・室 紀行, 2021. 東京大学秩父演習林とその周辺地で記録した昆虫 異翅類 (第 2 報). 寄せ蛾記 (182) : 1–8. 埼玉昆虫談話会.

野澤雅美, 2021. 埼玉県に分布するキジラミ類 (カメムシ目: 腹吻亜目). 埼玉県立自然の博物館研究報告 第 15 号. (投稿中 3 月刊行予定)

○ 本間 岳史

本間岳史, 2021. 令和 2 年度の野外研の活動. 野外調査研究, (5) : 1, 野外調査研究会.

本間岳史, 2021. 見学会「浜川戸砂丘, 粕壁宿, 春日部市郷土資料館」の報告. 野外調査研究, (5) : 5-7, 野外調査研究会 (柿沼幹夫と共著).

本間岳史, 2021. 秩父の眺望ジオサイト—その地質学的観察—. 野外調査研究, (5) : 65-84, 野外調査研究会.

本間岳史, 2021. 「カラー図解『地球科学入門 地球の観察—地質・地形・地球史を読み解く』 (本の紹介). 野外調査研究, (5) : 140-141, 野外調査研究会.

本間岳史, 2021. 埼玉県立自然史博物館の建設にたずさわって. 埼玉県立自然の博物館令和 3 年度特別展 展示解説書, 65-69, 埼玉県立自然の博物館.

本間岳史, 2021. ジオパーク秩父におけるサイト保全方針 (ポスター発表). 第 11 回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会 (肥沼隆弘・山岡勇太・宮前拓朗・井上素子と共同発表).

本間岳史, 2021. ジオパーク秩父—秩父に息づく太古の記憶— (口頭発表). 令和 3 年度埼玉県町村教育長会総会 (長瀬町中央公民館).

本間岳史, 2021. 行ってみよう—秩父の眺望ジオサイト— (口頭発表). NPO 法人秩父まるごと博物館 ジオパーク講座 (秩父市歴史文化伝承館).

本間岳史, 2021. 巨大地震による埼玉県の瓦屋根被害—北部活断層地域・川越地域— (口頭発表). 川越市川鶴団地自治会 (川鶴公民館).

本間岳史, 2021. 地質学からみた青石 (口頭発表). 「下里・青山板碑製作遺跡」普及・啓発講座 (小川町立図書館).

(6) 国・地方公共団体・関連団体等への指導・助言

氏名	委員名等	依頼・委嘱	期間
山岡勇太	秩父まるごとジオパーク推進協議会運営委員	秩父まるごとジオパーク推進協議会会長	R3.4.1～ R4.3.31
橋本 強	埼玉県希少野生動植物種検討委員会委員	埼玉県知事 (みどり自然課長)	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	武甲山特殊植物保護増殖委員会委員	横瀬町教育委員会	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	自然史学会連合博物館部会委員	自然史学会連合会長	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	石戸蒲ザクラ保存検討委員会委員	北本市教育委員会	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	埼玉県レッドデータブック植物編改訂調査検討委員会委員	埼玉県知事 (みどり自然課長)	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	環境省自然環境保全基礎調査令和3年度植生図作成業務関東ブロック調査会議委員	環境省自然環境局生物多様性センター長	R3.4.1～ R4.3.31
須田大樹	東京都自然環境情報の保管に関する判断基準等検討会委員	東京都環境局自然環境部長	R3.4.1～ R4.3.31



Kobaton & Saitamatch

## 埼玉県立自然の博物館報 第17号

令和4年7月1日発行

編集・発行 埼玉県立自然の博物館

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬 1417-1

TEL.0494-66-0404 (総務)・0407 (学芸)

FAX.0494-69-1002

E-mail t660404@pref.saitama.lg.jp

URL <https://www.shizen.spec.ed.jp/>